

飯館のころを、未来へ

こころの ぽけっと

今から9年前、私たちは原発事故により長期の避難生活を強いられました。避難生活をしてみても、多くの村民は「今までのあたり前の生活を、いかにありがたいためであるか分かったわ」という話をしていました。それらの村民の声を聞いて、村では平成30年に、震災のあった3月11日を「あたりまえをありがとうと思う日」に設定したのでした。その後、村内外の多くの方々に「あたりまえをありがとう」というエピソード等を応募いただきましたところ、

今、日本中いや世界中が新型コロナウイルスの騒ぎで白濁生活を強いられています。しかも、まかり間違えれば死に至るといふ恐怖を抱えながら、

改めて、世界中の多くの人々があたり前に生活し、あたり前に買い物をして、あたり前に旅行が出来ることの素晴らしさ、大切さを感じ、そして感謝の気持ちを持つたのではないのでしょうか。

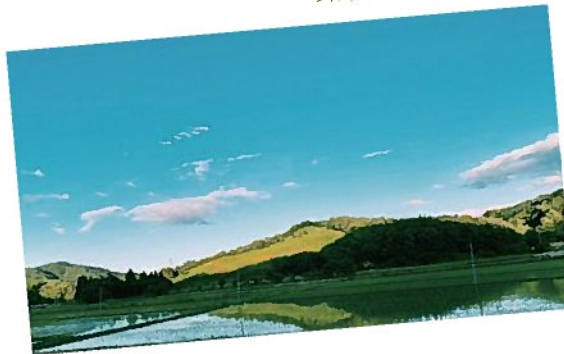
さらに、自分の感染の危険を顧みず医療にあたっていらっしゃる方々への感謝の念は、新型コロナウイルスによって思いやる気持ちを持つようになったといっているはずだと思います。私たちは、9年前「福島ナンバー」の車に嫌がらせをされたり、近寄らないようにされたり等があったところですので、今回の新型コロナウイルスに感染した方に対しては、決して偏見を持ってはいけません。とも牛かしていかねばなりません。

新聞に「未来へ綴ろう 東北のころ」なる広告が何回も出ていました。

宮沢賢治の「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」とか、小林多喜二の「闇があるから 光がある」、さらに井上ひさしの「人間は奇蹟そのもの」などなど。もう一度、東北の心、福島心、そして飯館の心を未来へ綴っていきましょう。

令和2年5月14日 飯館村長 菅野 典雄

地域おこし協力隊 いいたてDIARY



飯館村は写真映えスポットがいっぱい！

飯館村の美しい風景に心いやされる毎日。他の写真もインスタグラム上で見ることができるので、ぜひご覧ください。
(インスタグラム→@lvc_iitate)

今月のライター

飯館村地域おこし協力隊
松本 奈々さん



最近、アート制作・交流等の拠点をつくるプロジェクトを計画しています。ぜひ村民のみなさんと一緒に楽しみながら拠点づくりをしていければと思います！

上田和昌さんの

ラオス通信。

vol.13

ラオスのスポーツ事情(2)

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。さっとラオスが身近になりますよ！



上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。

セバククローと同じくラオス国内で知られているスポーツがベタンクです。ベタンクは、お年寄りから子どもまで、性別に関係なく、広く親しまれています。ベタンクは、フランス発祥の球技です。カーリングのようなスポーツで、的にめがけて鉄の球を投げ、的に近い方が点数が高くなります。ラオスでは「ティーブン」と呼ばれています。

なぜラオスでフランスのスポーツ？と思う人がいるかもしれません。実は、ラオス国の歴史と深く関係があります。ラオスには、1890年代初めから約60年間、フランス植民地の時代があり、その影響で、今でもフランスの文化が根強く残っています。ベタンク以外にも、その名残として、フランスパンがラオスの屋台でよく売られています。余談ですが、このフランスパンは、外はカリッと中はモチモチしていて本当に美味しいです。ラオスに訪れた際には、このフランスパンを用いた「カオチー」というサンドイッチをぜひ食べてみてください。お気に入りのラオス料理の一つです。

そのようにラオスで親しまれているベタンクですが、競技として以外にも、もう一つの楽しみ方があります。それは、お酒を飲む席のお供としてのベタンクです。夕方、ベタンクをしている大人を見かけると、必ずと言っていいほどビールが置いてあります。

自分がラオスに赴任してからよくあるのが、会議や研修が終わってからのベタンクと称した飲み会です。的を外した際や、負けてしまったときに、コップに注がれたビールを飲み干します。長いと、きで夕方の4時過ぎから深夜まで続きます。

次回は
ラオスのピーマイ(新年)
を紹介します！

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
原 侖乃巻 ちゃん	駿輔・楓恋	長泥

すくすくと元気に育ってね



おくやみ

氏名	年齢	行政区
田村 照清	92	上飯橋
田中正勝	45	草野
佐藤 政一	92	二枚橋・須萱
佐藤 幸治	50	比曽
赤石 澤 恭	88	小宮

ご冥福をお祈り申し上げます



ひとのうごき

4月1日～31日までの人口動向	
人口	今月(前月比)
男	2676人(-18)
女	2652人(-18)
計	5358人(-36)
世帯数	1830戸(±0)

4月1日～31日までの人口動向	
転入	2人
転出	34人
出生	3人
死亡	7人

(4月16日から5月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。